

# Manifesto 宮木猛の「やりたいこと」

マニフェスト ～猛の決意～

1. 若いエネルギーをを活かした新しいまちづくりの推進！
2. 世代の格差をとりはらい、地域のために走り続けます！

宮木猛が目指すのは「北近畿の都」ではありません。  
「日本一の福知山市」そして  
「世界に誇れる福知山市」を目指します！

## ①合併した直後だからこそ、開かれた市政・議会を！

### ● 1-1. 情報公開

#### 1. 徹底した情報公開を

1市3町が合併して誕生した福知山市では、「何がどう変わったのか」不明な点が多くあります。制度・補助、そして生活負担がどうなるのか…、これらの疑問と不安を解消するには「徹底した情報公開」が必要です。生活の身近なことを議論しているのが、行政・議会なのに住民に対して十分に情報が出されていない気がします。行政・議会にさらなる情報公開を求める一方で、自らのホームページや活動報告を通じて徹底した情報公開に取り組みます。広域な合併後の福知山市全てを回り話を聞くのは困難です。だからこそいち早く情報を届けられる、インターネットを活用します。素早くわかりやすい情報公開を続けることで、若い世代にもまちづくりに関心を持ってもらえるようになります。また「大型公共事業」については、計画策定段階で情報開示をし、市民の意見を幅広く聞けるような機会を作るように行政に訴えていきます。

#### 2. インターネットを利用し議会のライブ中継を

京丹後市では議会のライブ中継を行なっています。福知山市議会でもインターネットを利用し議会のライブ中継を実現できるように取り組みます。

#### 3. 市議会ホームページの改善

市議会ホームページで議案や資料を、議会開催までに公開するよう取り組みます。もちろん僕のホームページでも、議案・資料を「素早く・わかりやすく」公開します。

#### 4. 口利き・働きかけ防止

一定の公職ある者から提言・要望・意見等は文章化するように求めていきます。またそれを情報公開することにより、口利き・働きかけの防止を図ります。

#### 5. 幅広い意見集約

Eメールアドレスを公開し、様々な世代からの意見集約を実行します。また紙媒体の広報誌を定期的に発行し、電話・FAXを利用した意見集約も行ないます。もちろん直接対話できるように、どの地域にも足を運ぶことをお約束します。そして頂いた意見・質問には必ず、1週間以内に返答します。



(写真) 宮木猛個人サイト「走れ！猛！」毎日更新してます

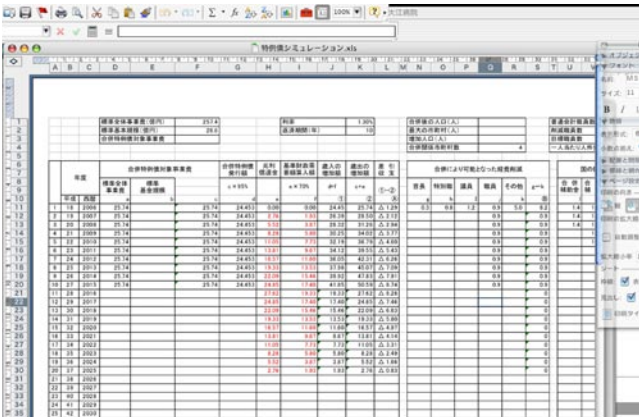
## ● 1-2. 財政運営

### 6. 確かな財政運営を

合併後の福知山市の財政は非常に、見通しが良くないと考えています。早急に財政計画を見直し、対策を考える必要があると思います。ここでも徹底した情報公開を行ない、様々な資料を作成して、わかりやすく「市の財政状況」を伝えます。

### 7. 大型公共事業の見直し

250億円の合併特例債の、事業内容をもう一度検討・見直しをする必要があると思っています。何故なら合併特例債は「有利な借金」と言われますが、借金であることに変わりはありません。合併特例債事業の負担が表に出てくるのは、合併後10年以後になります。つまりその時に一番の負担を受けるのは、僕の世代やその子ども・孫なのです。10年・20年先を見据えた検討・見直しを提言します。



年度	事業費	収入	繰上金	繰下金	繰上金	繰下金	繰上金	繰下金	繰上金	繰下金	繰上金	繰下金
2017	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2021	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2022	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2025	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2026	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2027	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2028	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2029	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2030	25,740	24,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(写真)ただいま研究中の「特例債シミュレーション」

## ②誰もが笑顔になれるまちづくりを！

## ● 2-1. 少子高齢化対策

### 8. 地域活性化

少子高齢化の部分で、僕は高齢化を問題とは考えていません。元気なお年寄りが増えるのは、良いことであって決してマイナスではないと思います。ただ少子化はこれからの福知山市、そして日本にとっても大問題です。今こそ地域が丸となって「安心して子どもを育てられる」ようにしなくてはならないと考えています。子どもからお年寄りまで、全ての年代が交流できる場を作ります。また子どもが宝なら、おじいちゃん・おばあちゃんの経験・知識・技術は財産です。こういうものが後世に渡って残せるように取り組みます。具体的には公民館やその他の団体と連携して、全ての世代が参加できるようなイベントを企画します。ま

た「おばあちゃんによる料理教室」なども面白いかもしれません。そういった取り組みを、自らのホームページで紹介したり広報誌に掲載したりすることにより取り組みの輪を広げていきます。

### 9. 地域コミュニティの再編

大江地域には旧村単位で、7つの公民館があります。これまでまちづくりに大きな役割を果たしてきた公民館の役割は、合併後さらに重要となります。しかし役割が重要になると言っても、公民館だけに負担を与えるわけにはいきません。今後は各種団体が横のつながりを強め、協力しいろいろな活動をするのが大事だと思います。もちろんその輪の中には、地域の人達も入ってもらわなければなりません。こうした活動は先程述べた、地域活性化にも繋がるはずで、公民館は5年後も7つで残していくことは確認されています。しかし地元負担をどうするか、公民館体制をどうするかは今後も考えて行かなくてはならない課題です。町の体協がなくなった以上、公民館を中心としたスポーツ振興のための戦略も打ち出す必要があるでしょう。ただ何度も言いますが、その役割を公民館だけに押し付けるようなことがあってはなりません。

### 10. 子育て支援の推進

子どもの医療費・保育料は合併後は福知山市の水準になりました。これからの福知山市にとって、少子化は大きな問題です。合併前の各自治体で取り組んできた、優れた取り組みを、福知山市でも推進できるように訴えていきます。そしてそれらの施策の推進・充実を図ります。またその財源確保のための「財政運営計画」を示すことも同時に行ないます。

### 11. 新大江病院の充実

民営化後の大江病院は、現状で少し黒字です。ただ経営の数字は、病院施設整備の企業債や新規に整備した機器の減価償却、その点検などのコスト（保証期間の1年後から発生する）を負担していない数字ですので、まだまだ経営状況は厳しいと言わざるを得ません。大事なものはこれからです。新大江病院はまだまだ成長の可能性を秘めています。利用者と病院の意思疎通をこれまで以上に深め、10年後にも存続そして発展するように取りんでいきます。

### 12. 福祉のサービスの充実

社会福祉協議会の合併により、大江町の様々な福祉サービスはどうなるのか不安を持っている人が多数います。行政にこれまでのサービスを低下させないように訴えると同時に、NPOを利用した新たなサービス提供を必ず実現させます。すでに福知山市では移送サービス等を実施している

NPOも存在します。行政だけに頼っていたのではできない「これまで以上のサービス」の実現に向けて頑張ります。そして様々な機関と連携をとり、市全体でのサービス充実に向けて取り組みます。また旧3町で行なっていた、独自施策で優れたものを福知山市でも取り入れるように訴えていきます。例えば大江町でのへき地バス制度はかなり優れたものでした。現在は有料制になっていますが、より手軽に使用できるように「チケット制」にしてもいいでしょう。「定期」のようにして販売し、一回一回の負担料を軽減させる方法も考えられるでしょう。市営バス路線に組み込まれている以上、完全無料にするのは困難かもしれませんがアイデア次第で負担軽減はできるはずで、僕は利用者の生の声を聞いて、改善・充実に取り組みます。

### 13. 移送・配食サービスの改善

利用者の声を聞き、改善に取り組みます。配食サービスに関しては、できるだけ地域に密着した企業・人材を利用するように求めています。配食サービスはただ「食事」を届けるサービスではないのです。高齢者の安全確認や、人間の交流の役目も大きいのです。そのためにも、地元企業の利用、地域に密着したボランティアの増員に務めます。

### 14. シルバー人材センターの充実

すでに福知山市では設立されていますが、大江町には「連絡所(支所)」がありません。元気な高齢者のエネルギーを有効にまちづくりに活かすためにも、早急に大江連絡所の開設を求めます。

## ●2-2. 防犯・防災

### 15. 災害対策

地元住民の要望を最優先に訴えていきます。ただし、由良川改修は市全体を見据えた計画を練ることも重要です。またどんなに対策をしても、時には災害に見舞われることがないとは限りません。そのためにも素早い情報収集そして伝達ができるシステムの確立を早急に取り組みます。ここで言うシステムの確立とは、ハード面だけではありません。現在台風23号災害をうけて、急ピッチで情報収集のシステムが完成しつつあります。しかし大江町は場所によって、携帯不通地域もありますし、全地域がブロードバンド化されているわけではありません。こうした情報格差が起こりうる地域を、各防災支部の連携などによってカバーできるように取り組みます。また消防団との連携も非常に重要となってきます。各防災支部の組織充実と、消防団・支部・地域の連携を強めていきます。

### 16. 高齢者世代・独居老人世帯の防犯・防災

増え続ける高齢者世帯・独居老人世帯の安全対策について

は、行政・地域・消防団・社会福祉団体・NPO・ボランティア団体などが連携して、防犯・防災に取り組むよう訴えます。特に大江町は水害が多い地域です。各種団体が情報を共有することも大事です。

### 17. 子どもの安全対策

大江町で行なっている「防犯を家事り隊」のような、地域住民で子どもを守る施策を市全域に広めます。

## ●2-3. 経済の活性化

### 18. 商工業の振興

自治体は合併しましたが、3町の商工会そして市の商工会議所は現状のままです。これまで以上に連携を強め、商工業の発展に努めます。またインターネットを利用した宣伝・販売網の確立、そして地域ごとの特色を打ち出した商工戦略を打ち出します。また3町の商工会合併については「会員の意見」を第一に協議が進められるように訴えます。

### 19. 「通信販売」ホームページの開設

大江町ならではの、商品の数々を全国に向けて販売できるシステムを確立したいと考えています。商品を充実させるためには、おのずと各商店の協力が必要となります。農家の方が栽培した野菜等を、販売できるようにしても面白いでしょう。後は個人で作成しているような商品も、掲載し販売できるようにすれば地域経済の活性化に繋がらないでしょうか。そうした商品を全国の人に知ってもらい、購入してもらおう…。そのことが、この地域の知名度の上昇や観光客増加にも繋がると僕は考えています。商品の写真を載せる一方で、カタログを作ってもいいかもしれません。そして「会員」を募集して、年に数回ほどカタログを発送する。いわゆる「通販会社」が行なっている、戦略を取り入れても面白いかもしれません。

### 20. 観光産業の振興

新しい福知山市はいたるところに、宝物のような観光名所が存在します。旧1市3町の個性を打ち出しながらも、それぞれの連携も深める観光プランを考えます。またリピータをつかむために、他市町との連携も深め広域観光地として京都府北部を打ち出していきます。もちろんこれからの観光戦略にはインターネットによる戦略はかかせません。各地の個性を打ち出したホームページの作成、また各社の予約サービスを利用した宿泊客獲得にも取り組みます。

### 21. 大江観光(株)の改革

昨年11月臨時議会で、様々な施設を大江観光が管理することになりました。しかしどの施設も経営状況は厳しい

のが現状です。大きな投資をただけの、利益があがっていないのがです。しかも指定管理者制度導入の際の、今年度の「収支予算書」も赤字を見込んだものでした。大江の優れた観光財産を活かすために、大江観光(株)の改革に取り組みます。まずは観光施設紹介のためのホームページ作成に取り組みます。製作過程では小・中・高の生徒に協力してもらおうとも考えています。自分達の住む町を、自分達で調べ紹介することで地元へ愛着が湧くのではないのでしょうか。そして物販の面でも販売網の拡大を目指します。また民間商工業者とも連携を上手く取り、お互いが発展できるように取り組みます。



(写真) 災害に強いまちづくりを(河守築堤工事風景)

### ③若いエネルギーを活かした新しいまちづくりを!

#### ●3-1. 若者が集うまちに!

##### 2.2. 音楽で地域活性化!

福知山市だけでも、音楽が好きな人は多くいると思います。その中には、プレイヤーとしてバンドを組んだりしている人も多くいるでしょう。僕はそういう人達の、エネルギーを活かして地域を活性化させたいのです。またバンド活動をしている人、バンド活動してみたいと思っている若い世代も多くいるでしょう。それらのエネルギーが合わされば、必ず地域活性化に結びつきます。CD制作・販売・イベント等々多くの方法で、この地域の「音楽熱」を高め、そのエネルギーを地域活性化に必ず結びつけます。福知山市での「音楽熱」が高まることは、市民交流も進むということです。そして僕は、その交流範囲を隣接する市町村や他府県にまで広げたいのです。僕は大阪でのバンド活動・エンジニア活動の経験を活かして、この地域を音楽で活性化させることを宣言します。

##### 2.3. 施設の利活用

ふと周りを見渡せば、立派な施設がたくさんあります。合併後の大江支所にはたくさんの空き部屋ができてしまいました。また大江町には、存在はするけれどあまり使用されていない施設が幾つかあります。それらを有効に利活用し、

さらには大江町住民以外にも活発に使用してもらえるように取り組みます。もちろん大江町住民が福知山市内の施設を活発に使用できるようにもしていきます。合併後の市内全体を、みんなが動き回れるようなまちづくりの一環として、現有施設の有効利活用を進めていきます。特に普段施設利用をあまりしない世代にも訴えかけていきます。

##### 2.4. イベントの充実

これまで大江町が行ってきたイベントは、どうしても行政の補助金だよりだったかもしれません。しかしこれからは、各種団体が手を組み、知恵を出し合い様々なイベントに取り組む必要があるのではないのでしょうか。そうしたイベントにいろんな世代を引き込んで、交流を深められれば必ず新しいまちづくりに繋がります。もちろん若い世代によるイベントも、積極的に取り組んでいきます



(写真) 昨年初めて行なわれた「鬼力の灯火」は大成功!

### 宮木猛 Manifesto を 読んでくださったみなさまへ

今回僕が作成した Manifesto は本来の「マニフェスト」とは違うものかもしれません。具体的な目標数値や、目標年度も示してありません。稚拙で「マニフェスト」と言うのもおこがましいような物かもしれませせん。でも僕が「こういうことがやりたいんだ」という想いは、ほぼすべて書き込んだつもりです。「夢」と「理想」ばかり並べられた、マニフェストに見えるかもしれません。でもこんな時代だからこそ「夢」と「理想」を持ちたいと思うのです。これからずっとこのまちに住み続けるからこそ、夢と理想を大事にしたいのです。ここに書き上げられたことは、僕一人だけではどれも実行できません。僕の「夢と希望」に賛同してくれる仲間を、僕は求めています。どうせなら「日本一、そして世界一」を目指そうじゃないですか!

平成 18 年 1 月 23 日 宮木猛

TEL 0773-56-0345(自宅) FAX0773-56-0220

URL <http://www.miyakitakeshi.com/>

E-Mail [info@miyakitakeshi.com](mailto:info@miyakitakeshi.com)